

「日本のへそ」にしわき応援ファンド活用支援事業 事業計画書

1. 事業名及び事業概要

事業名 (30文字以内)	事業名を30文字以内で表現してください。
事業概要	今回申請する新規事業の概要を、この欄に収まる範囲で、簡潔に記入してください。

2. 協力金融機関

協力金融機関	(名称) ○○○銀行 (支店) 西脇支店	担当者氏名	銀行の担当者名
--------	----------------------	-------	---------

3. 会社概要

法人名	○○○○○○○○株式会社	設立年月	法人等の設立年月
代表者役職・氏名	代表取締役 ○○ ○○	市内での事業開始	平成15年 4月
所在地・住所	〒677-8511 西脇市郷瀬町○○番地	資本金	10,000千円
担当者役職・氏名	営業部 ○○○課 ○○ ○○	従業員数	社員 10人
電話番号/FAX番号	0795-22-○○○○ / 22-○○○○		パート等 7人
MAILアドレス	○○@○○.com	主たる業種	○○製造業
HPアドレス	http://www.○○○○.co.jp		
会社沿革 経営者プロフィール	会社沿革は、創業時から経営上重要な事業内容、新製品の発売、事業所の設置等を記入 経営者プロフィールは、経歴やこの事業に関連する経験・能力・資格等を記入		
経理理念 ビジョン	経営者の経理理念、経営ビジョン等を記入		
既存業務の内容 (概要・強み・課題)	既存事業の概要は、申請事業以外の既存の事業がある場合に、その概要や強み、課題などについて記入してください。		
主要な商品・ 製品・サービス等	既存事業の主要な商品・製品・サービス等について、特徴などを含めて記入してください。		
関連会社	○有・無 (○○○○株式会社 兵庫県○○市○○番地 ○○加工業)		
主な仕入先(2社)	○○○○社 ○○○○社		
主な販売先(2社)	○○○○社 ○○○○社		

4. 財務状況等

市補助活用実績	○有・なし	(平成26年: ものづくり・あきない経営革新支援事業)				
メインバンク	○有・なし	金融機関名 (○○○○銀行)				
財務状態	債務超過	有・○無	借入金リスクスケジュール	有・○無		
業績	決算期	期間	売上高(千円)	営業利益(千円)	経常利益(千円)	純資産(千円)
	第○期	24/4~25/3	15,000	10,000	3,000	30,000
	第○期	25/4~26/3	17,000	9,000	1,500	28,000
	第○期	26/4~27/3	19,000	13,000	5,000	35,000

## 5. 申請事業

### (1) 動機・目的（申請に至った社会的な背景や地域事情、動機や目的について）

申請事業が必要とされる地域の事情や社会的な背景・環境、ニーズ等について記載してください。また、事業を開始したいという想いに至った動機や経緯を記入してください。

### (2) 商品・サービスの概要について（商品・サービスの内容、特徴、優位性・強みなどについて）

上記(1)の状況などを踏まえながら、申請事業が「どのような商品・サービスを提供するのか」を明確に記入してください。

### (3) 事業の地域性について（この事業に活用する西脇らしい地域資源や特色、特別な技術やアイデア、知的財産権等、又はこの事業で解決を目指す地域等の課題について）

申請事業に活用する西脇らしい地域資源や特色、培われてきた技術や新たなアイデアについて記入してください。御社独自の技術、特許、実用新案、意匠等の知的財産の出願権利を有している場合は、その種類や出願番号を記入してください。

### (4) 事業の共感性について（商品やサービスなどに対するこだわり、想い、ストーリー性など、市民や出資者から共感を得られるものであることについて）

出資を募る情報発信サイト（ホームページ）における発信内容を意識しながら、市民や出資者から共感を得られるような内容（ものづくりやサービスに対する想いなど）を記入してください。

### (5) 出資者との関係性について（出資者との関係に対する考え方、出資者とのつながりを大切にしたい理由、つながりを築いていく方法、想定する出資者への特典などについて）

出資者を潜在顧客としてどのように捉えているか、出資者とのつながりをどのように深めていくか、想定している出資者への特典（その数量、金額、提供回数など）などについて、記入してください。

## (6) 事業の実現可能性について

### ア 既存事業との相乗効果について

申請事業と既存事業が関連する場合については、既存事業の強みをどのように生かすか、どのように課題を解決するか、などについて記入してください。

### イ 人員体制、設備体制、連携企業等について

#### ○人員・設備体制

事業を担当する専門スタッフの体制や設備器具の状況について記入してください。

#### ○連携・提携企業等

連携や提携する企業等がある場合は、補完関係やその強みなどについて記入してください。

### ウ マーケティングについて

#### ○ターゲット（性別、年齢層、世帯構成、職業など）

申請事業の商品やサービスなどの販売や提供のターゲットが誰で、どんなときに利用するのかという観点から記入してください。

#### ○マーケット規模

ターゲット市場の規模（対象エリア・顧客数等）と、その市場の動向（今後の成長性等）を記入してください。

#### ○競合状況

申請事業に関する同種のサービス、類似品との競合状況（強みなどを含む。）を記入してください。

### エ 販売戦略について

#### ○販売価格（価格設定とその根拠など）

商品・サービスの販売価格について、顧客への標準販売価格、卸売価格当を具体的に示し、価格設定に関する方針についても記入してください。

#### ○販売ルート・方法

計画している販売ルート・方法について記入してください。

#### ○広告宣伝・PR方法

販売を促進する販促活動、マーケティング、流通戦略について記入してください。

## 6. 売上・利益の実績・計画

(単位：千円)

	実績			計画		
	前々期 (平成25年 3月期)	前期 (平成26年 3月期)	直近 (平成27年 3月期)	第1年次 (平成28年 3月期)	第2年次 (平成29年 3月期)	第3年次 (平成30年 3月期)
①既存事業の売上	50,000	100,000	150,000	170,000	200,000	200,000
②申請事業の売上			50,000	100,000	150,000	250,000
③売上高(①+②)	50,000	100,000	200,000	270,000	350,000	450,000
④営業利益	△6,000	12,000	30,000	35,000	50,000	70,000
⑤経常利益	△5,000	10,000	25,000	30,000	45,000	60,000
⑥税引後当期利益	△5,000	10,000	15,000	20,000	30,000	40,000
⑦減価償却費	0	5,000	10,000	13,000	18,000	20,000

- ・過去3期の実績及び今後3期の計画を記入してください。
- ・売上については既存事業と申請事業とに分けて記入してください。申請事業の売上に実績がなければ記入は不要です。

## 7. 今後の資金計画

(単位：千円)

		第1年次 (平成28年 3月期)	第2年次 (平成29年 3月期)	第3年次 (平成30年 3月期)	
資金需要	既存事業	⑧設備資金	0	0	10,000
		⑨運転資金	0	0	0
	申請事業 (A)	⑩設備資金	10,000	0	0
		⑪運転資金	10,000	0	0
		⑫合計(⑧+⑨+⑩+⑪)	20,000	0	10,000
資金調達※1		⑬自己資金	5,000	0	5,000
		⑭借入金(融資)	5,000	0	5,000
		⑮資金(小口投資)※2	10,000	0	0
		⑯合計(⑬+⑭+⑮)	20,000	0	10,000

※1…申請事業(A)に対応する資金調達。資金需要以上の資金調達が必要であるため、⑯ $\geq$ (⑩+⑪)となるように留意してください。

※2…⑮は本事業により小口投資ファンドで調達を目指す出資金の金額を記入してください。

## ・資金需要

- ⑧～⑪ 既存事業と申請事業別にそれぞれ設備資金・運転資金を記入してください。
- ⑫ ⑧～⑪の合計金額を記入してください。

## ・資金調達

- ⑬ 自己資金(代表者等関係者からの調達、自社の利益・減価償却などキャッシュフローによる捻出等)を記入してください。
- ⑭ 金融機関等からの新規借入予定額を記入してください。
- ⑮ 本事業により小口投資ファンドにて調達を目指す出資金の予定額を記入してください。
- ⑯ ⑬～⑮の合計金額を記入してください。

## 8. 小口投資調達資金の使途

小口投資で調達した資金を何に、どの程度活用するか記入してください。設備投資や仕入れ、販管費などには活用できますが、不動産取得等には活用できませんのでご注意ください。

## 9. 申請者メッセージ（小口投資の募集や事業PR等のためにHP等で公開する場合があります。）

申請事業の選考にして伝えておきたい申請事業の意義や経営者の思い等を記入してください。

## 10. 応援者メッセージ（小口投資の募集や事業PR等のためにHP等で公開する場合があります。）

メッセージは、ビジネスプランのほか、申請者に対するものでも結構です。メッセージを記載いただく方は、申請者本人、協力金融機関以外の第三者であれば特に問いませんが、地域の団体や申請者のビジネスパートナーなどを想定しています。メッセージの内容は自由ですが、地域の元気づくりや地域経済の活性化などにどう貢献できるかという視点で、励ましや期待を記載いただくことを想定しています。

## 11. その他特記事項（商品・サービスの写真や概要図、事業の補足説明、PRポイントなど）

※パンフレット・チラシ（A4判片面4枚又は両面2枚）があれば、添付することができます。

※事業計画書（様式第2号）の枠に収まらない場合は、必要に応じて枠を拡張、縮小してください。

ただし、最大でも6ページ以内に収めてください。

※事業計画書を補完する企画書（自由様式）があれば任意でご提出ください。その場合、A4判両面印刷、4枚以内、左上1か所ホッチキス留めで提出してください。